

# MAMプロジェクト011: ジュール・ド・バランクール

2010年3月20日 [土] - 7月4日 [日] 森美術館 ギャラリー 1 (六本木ヒルズ森タワー 53階)



**MAM プロジェクトは森美術館が世界各国の才能豊かな若手アーティストを応援するプロジェクト・シリーズです。**

ジュール・ド・バランクール(1972年、パリ生まれ)は、ニューヨーク・アートシーンを代表する作家の一人です。パレ・ド・トーキョー(パリ)の「私たちの物語 (NOTRE HISTOIRE)」、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ(ロンドン)の「USA トゥーデイ」等(すべて2006年)に参加して以来、国際的に活躍しています。本展では、新作も含めて2003年からの代表作12点を展示します。

ド・バランクールは絵画を中心に彫刻、インスタレーションなどを制作してきました。特に絵画では、その自由自在な線と色づかいで、日常生活の一場面から、冒険、恋愛、政治、経済、環境、ユートピア思想、さらには精神次元の風景までを縦横無尽に表現します。これらの風景は、ニュースやメディア、さらにサイバースペースをも現実の一部として捉えるド・バランクールの意識が表現されています。その視点はネットワーク状に広がり流動的なため主題は多岐に渡り、表現手法は具象的にも抽象的にもなり、写真、地図、映像なども連想させます。また、描かれる対象との距離感も、クローズアップから遠景図まで多様であり、絵画自体のサイズも大小様々です。こうした作品群は、互いに連鎖することで、観る人独自の物語へと開かれており、作家はこの作用を「フリーアソシエーション(自由連想)な絵画」と呼んでいます。

彼の作品にタイトルと共にときおり絵の中に現れるスローガンのような言葉は、あたかも広告戦略を絵画に取り入れたようにも見えます。同時に、彼の作品には資本主義システムや管理社会への批判的視点、特に9.11以降の世界観が見え隠れします。それは、彼自身がユートピア論や社会システム、コミュニティといったものに常に興味を持ち、実際にニューヨーク、ブルックリンのオルタナティブ・スペース「STARR SPACE」の運営(2006年-2009年)を通じてコミュニティ作りを実践していたことにも依っています。

森美術館は、本展が現代美術における絵画の位置、そして映像やメディア、ネットワーク的な視点を取り入れた絵画の新しい可能性を再認識する機会となることを願います。

**主催:** 森美術館 助成: フランス大使館 **会場:** 森美術館 ギャラリー 1 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53階

**入館料:** 一般1,500円、学生(高校・大学生)1,000円、子供(4歳-中学生)500円

※3/27(土)は「六本木アートナイト2010」開催に伴い、3/27(土)24:00~翌朝6:00までの時間帯は500円。

※森美術館「六本木クロッシング2010展」と共通、展望台東京シティビュー(スカイデッキ除く)への入館料を含みます。

**開館時間:** 10:00-22:00(火曜日のみ17:00まで。但し、5/4は22:00まで)。

※3/27は「六本木アートナイト2010」開催に伴い、翌朝6:00まで。 ※入館は閉館の30分前まで ※会期中無休

**お問い合わせ:** Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

## 展覧会カタログ

B5変形版 / 88頁(日本語・英語併記) ¥1,300 発行: 森美術館 販売開始日: 2010年3月20日(土)

**アーティストトーク** ※日英逐次通訳付 2010年3月20日(土) 17:30-19:00 料金: 無料(要予約・要展覧会チケット)

お申し込み: 2月23日(火)の10:00より先着順に受け付けます。



《衆愚の災宴》2004 油彩、エナメル、板 121.9 x 203.2 cm  
ジェフリー・ダイチ氏所蔵



《無題(ビルボード)》2006 油彩、板 121.9 x 142.2 cm  
ジャネット・モントゴメリー・バロン氏&ジェームズ・バロン氏所蔵、アメリカ

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

## PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 渡邊、瀧、田村、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum  
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER